

# 令和元年度 紀の川流域懇談会

## 令和元年度の紀の川における事業の実施状況



---

和歌山河川国道事務所  
紀の川ダム統合管理事務所





- ・重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議にて、重要インフラ緊急点検を実施
- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を閣議決定(平成30年12月14日)

緊急対策	緊急対策の概要	対策イメージ
樹木伐採・河道掘削 (外水対策)	洪水時の流下阻害となる樹木繁茂・土砂堆積等による氾濫危険箇所について、樹木伐採・河道掘削を実施	
河道掘削 (内水対策)	近年内水による浸水被害が発生している区間において、内水対策としての河道掘削等を実施	



# 平成30年度予算、令和元年度予算（紀の川）

## 予算

平成30年度	二次補正予算	一般河川改修事業	約18億	}	一般河川改修事業	約62億
		河川維持修繕事業	約06億			
令和元年度	当初予算	一般河川改修事業	約44億			
	(3か年緊急対策含む)	河川維持修繕事業	約11億			
(参考)						
平成30年度	当初予算	一般河川改修事業	約31億			
		河川維持修繕事業	約11億			

## 主な事業予定

### <一般河川改修事業>

- 岩出狭窄部対策の整備の加速化（令和2年度完成予定）
- 上流の狭窄部（藤崎、小田）周辺における河道掘削の前倒し着手
- 五條市域の築堤整備の加速化 等

### <河川維持修繕事業>

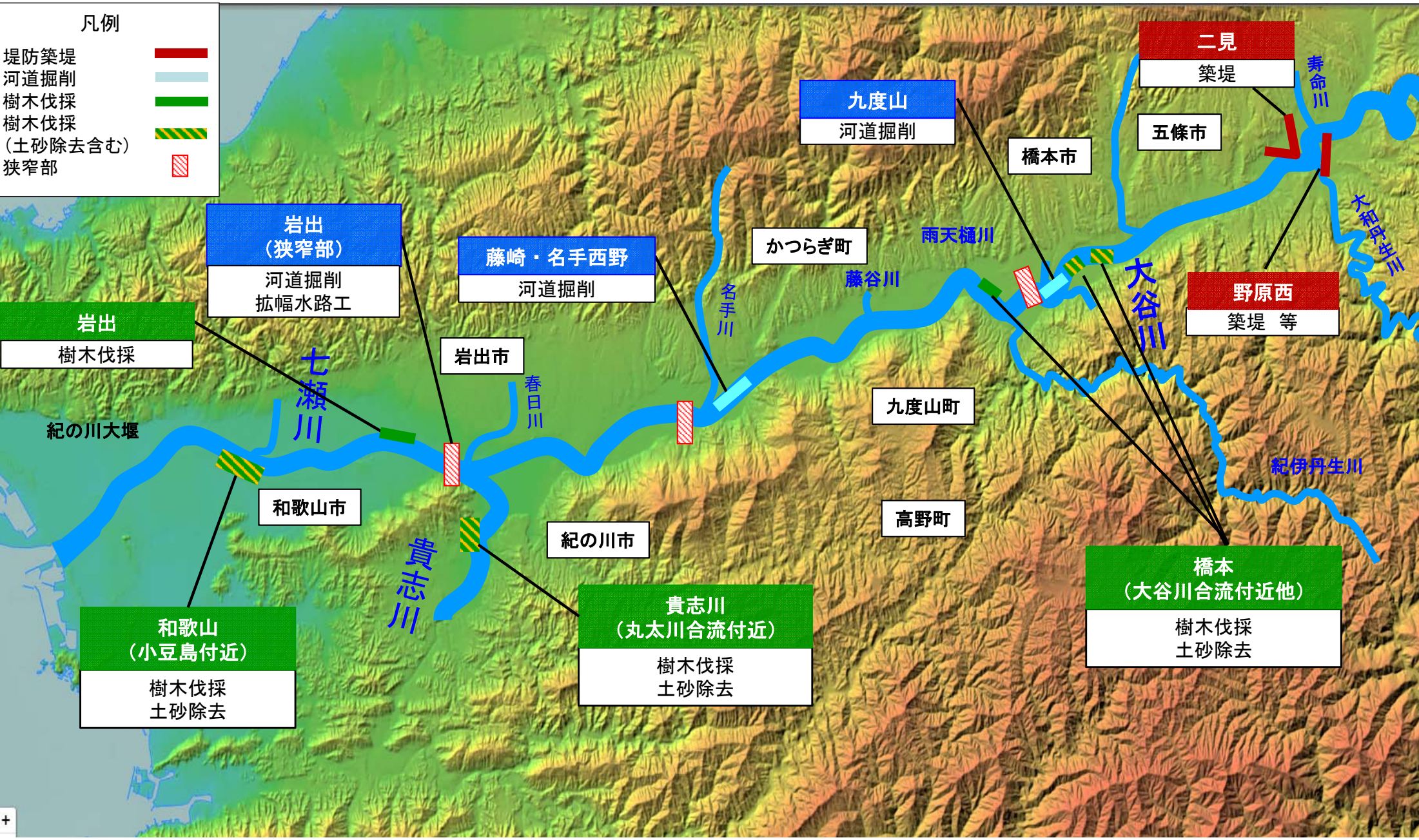
- 河川・樋門の点検、除草
- 樹木伐採、河道掘削 等





# 令和元年度の主な事業予定（紀の川）

- 凡例
- 堤防築堤
  - 河道掘削
  - 樹木伐採
  - 樹木伐採  
(土砂除去含む)
  - 狭窄部



【その他】 ○危機管理型ハード対策（堤防の法尻補強）  
・和歌山市、紀の川市、橋本市

○河川・樋門の点検、除草  
・和歌山市 ～ 五條市

○簡易型河川監視カメラ  
・和歌山市 ～ 五條市



# 岩出狭窄部対策の概要

## 実施方針

紀の川水系河川整備計画の目標である戦後最大洪水(昭和34年9月伊勢湾台風)における被害軽減のため、平成28年度から概ね5年間で、岩出頭首工(堰)付近に拡幅水路の整備を行うとともに、堰上流部の河道掘削を実施します。

これにより、岩出市、紀の川市等の浸水被害の軽減を図るとともに、地域の経済活動の発展を支援します。

## 実施内容

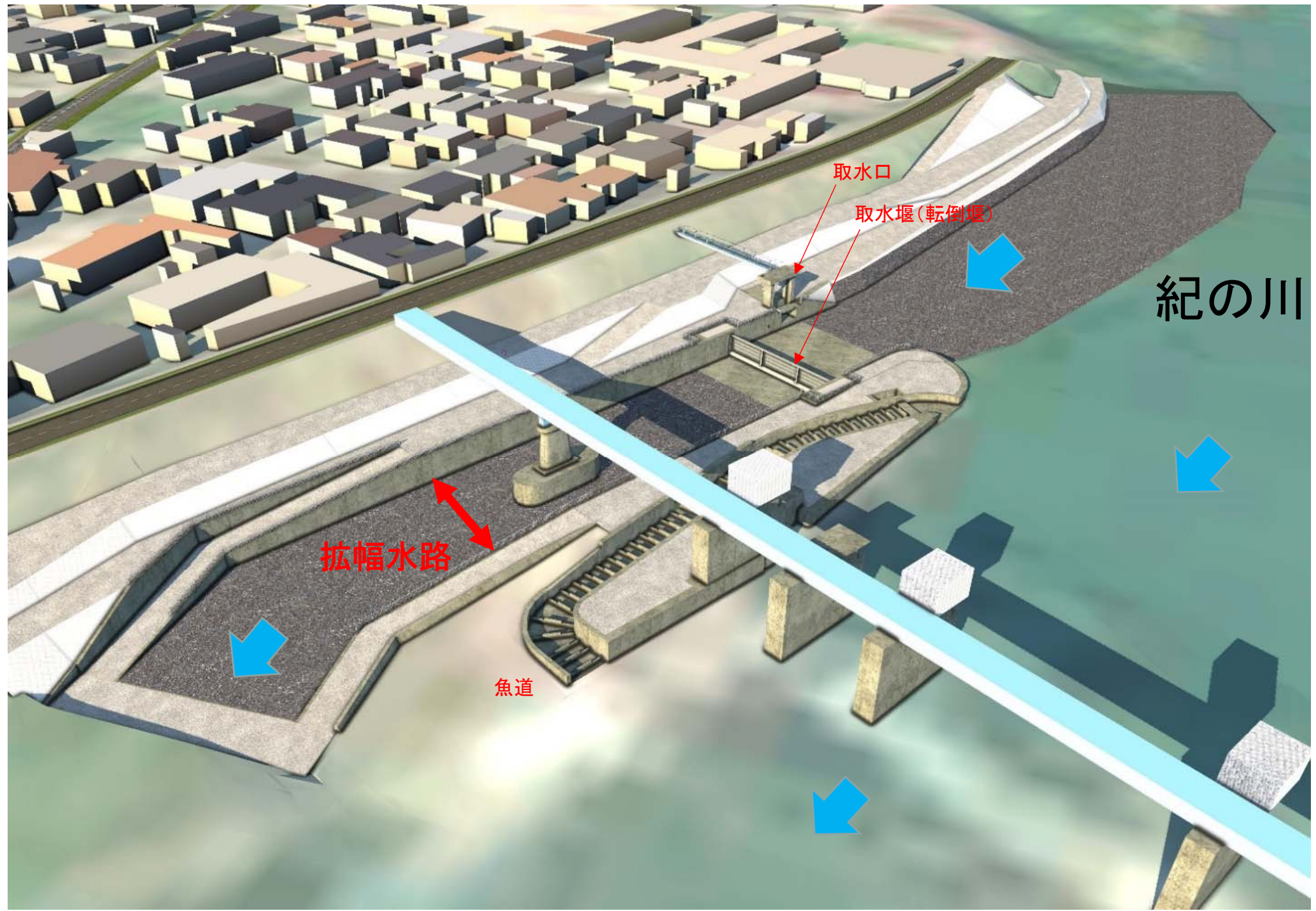
- ・ 拡幅水路整備
  - 長さ : 約120m
  - 幅 : 約20m
  - 高さ : 約4~5m
- ・ 河道掘削
  - 掘削量 : 約70万m<sup>3</sup>





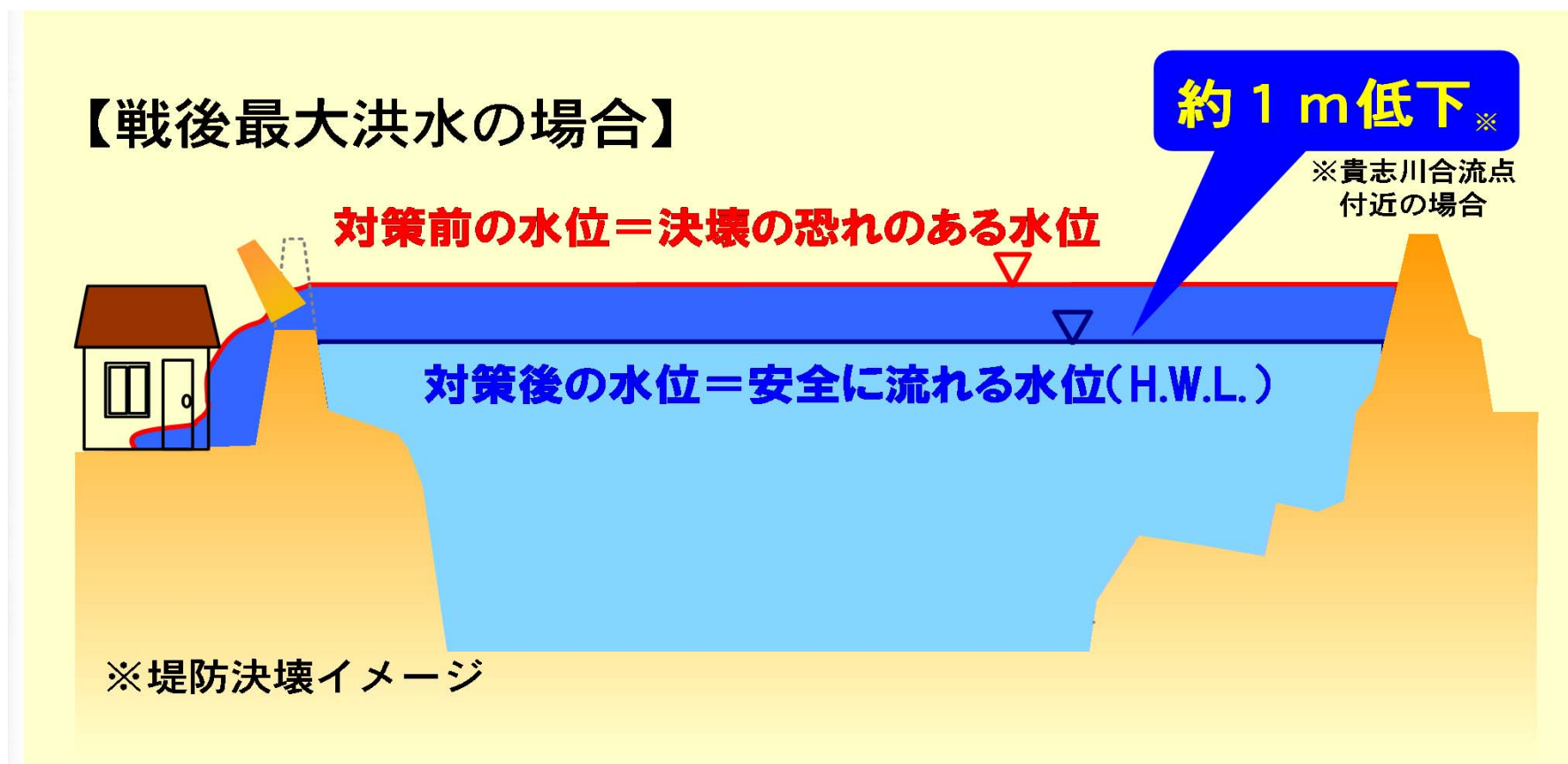


# 岩出狭窄部拡幅水路 (完成イメージ)



# 岩出狭窄部対策の効果

- 岩出狭窄部対策の実施により、紀の川の水位が下がり、堤防の決壊を回避することができます。
- 岩出狭窄部対策の実施により、紀の川の水位が下がり、堤防の内側（住宅側）からの水の排水が早くなり、浸水被害の軽減につながります。







# 対策が進む紀の川（岩出狭窄部対策）

対策前



2017年04月撮影

河道掘削



2019年05月撮影

対策前



2017年06月撮影

拡幅水路



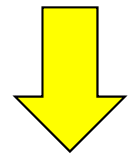
2019年03月撮影 8



# 対策が進む紀の川（樹木伐採、土砂除去）

## 和歌山市（小豆島付近）

対策前



2019年05月撮影

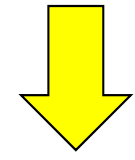
樹木伐採



2019年09月撮影

## 紀の川市（丸太川合流付近）

対策前



2019年05月撮影

樹木伐採



2019年09月撮影 9



# 対策が進む紀の川（樹木伐採、土砂除去）

橋本市（大谷川合流部上流付近）

対策前



2019年07月撮影

樹木伐採



2019年10月撮影

橋本市（大谷川合流部下流付近）

対策前



2019年04月撮影

河道掘削



2019年09月撮影

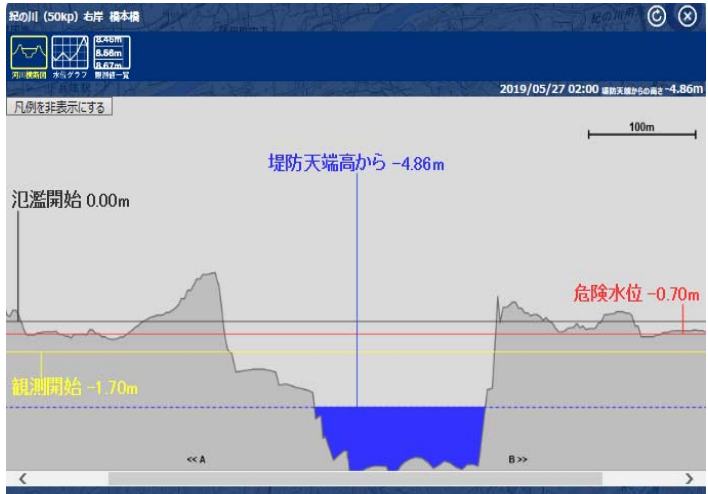
# 危機管理型水位計（洪水時に特化した低コストな水位計）

## 【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、**都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。**

## 【特徴】

- **長期間メンテナンスフリー**（無給電で5年以上稼働）
- **省スペース(小型化)**（橋梁等へ容易に設置が可能）
- **初期コストの低減**  
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）  
（機器設置費用は、**100万円/台以下**）
- **維持管理コストの低減**  
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ**通信コストを縮減**）





# 簡易型河川監視カメラ（機能を限定した低コストなカメラ）

## 【目的】

氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所に「簡易型河川監視カメラ」を設置し、河川状況を確認することで、従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。

## 【特徴】

- **屋外に容易に設置**（無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要）
- **機能を限定しコストを低減**  
（ズームや首振り機能は削除。機器本体価格は、**30万円/台程度**）





# 命を守る防災教育の支援（事前の避難を決断できる子供を育てる）

○事前（浸水前）に住民に自らの命を守る行動をとって貰うには、水位情報や河川の映像の提供に加えて、住民に「洪水や津波からの事前の避難の必要性を理解して貰うこと」が重要。

○このため、当事務所では、紀の川大堰に校外学習等に来られる地元の小学生に絵文字（ピクトグラム）を使った防災教育を令和元年度より実施（試行）。



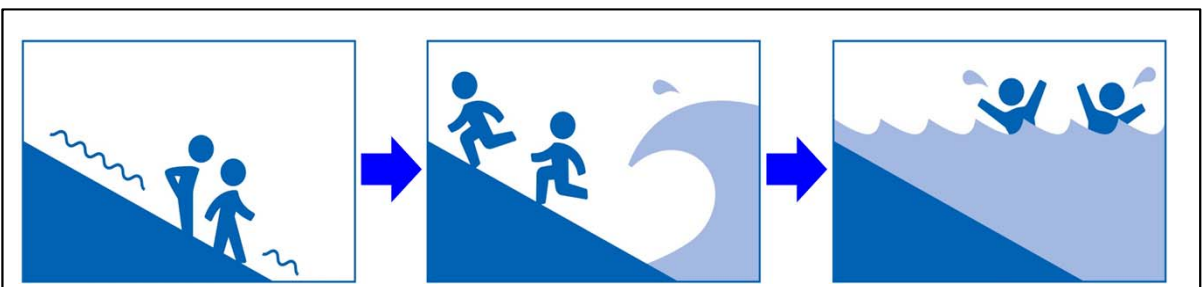
紀の川大堰での地元の小学生への防災教育

洪水の教材（例）



○泥水で足下が見えないので、水路やマンホールに気づかずに落ちてしまうことがあるよ！  
⇒家の周りが水につかる前に安全な場所に逃げよう！

津波の教材（例）



○津波が見えてから逃げても、津波に追いつかれて巻き込まれてしまうよ！  
⇒大きな揺れを感じたら、すぐに高いところに向かって走って逃げよう！



## （解説）

泥水で足下が見えないので、水路やマンホールに気づかずに落ちてしまうことがあるよ！

⇒家の周りが水につかる前に安全な場所に逃げよう！



## （解説）

ドアの外に30cm水がたまると、ドアが開かなくなってしまうよ！

⇒家の周りが水につかる前に安全な場所に逃げよう！

